

今回お話を伺ったのは >>>

上智大学

図書館情報サービス課
高橋 正江 様
杉本 昌彦 様

図書館が情報検索教育に力を注いでおり、専用のウェブサイトを作るなど、活発な上智大学にインタビューをさせていただきました。午後3時、図書館の情報検索室は熱心な学生たちでにぎわっていました。

LexisNexis Academicのご利用状況をお聞かせください。

「1ヶ月平均450サーチを超える利用があります。多く利用されていると思います。ニュースコンテンツを中心に利用していると思っていましたが、利用実績を確認しますと、国情報のデータベースソースも多く利用していることがわかりました。」

学生への利用促進、指導はどのように行われていますか？

「前期・後期に定期的に開催するデータベース講習会で洋新聞の検索のためのツールとしてAcademicを利用しています。特に利用頻度の高いソースであるNew York Times, 英語以外のソースの紹介をしています。日々のレファレンスでも記事検索の依頼がある時は多くの新聞ソースから検索が出来るAcademicを紹介しています。」

学生自身で情報検索をしていますか。

「はい。以前は検索代行ということもありましたが、基本的に学生自身で検索を行っています。今は図書館のホームページでも「新聞の探し方」という項目からも、Academicを利用した新聞検索に入っていけるので、皆さん自由に利用しています。」

情報検索教育の必要性または取り組みについてお聞かせください。

「2000年10月に情報検索室がオープンしてからはどんどん進んでいます。はじめはCD-ROMのERLシステム、続いて日経テレコンと増えていき、今では数多くの商用データベースを利用しております。冊子体も購入しておりますが速報性を考えるとニュースなどはオンラインデータベースのほうが優れている面があると思います。また莫大なデータからの横断検索が短時間で出来るなど今は勉強・研究の不可欠なツールになってきているようです。全学共通教育科目「情報リテラシー演習」の1コマ90分で、1年生全員に図書館の利用法から蔵書検索の演習まで指導しています。また、データベース講習会、学科別ガイダンスなども行っていますが、次年度からは個別のニーズにもこたえられるよう申込制講習会を予定しています。また、ホームページにWeb版情報リテラシーを掲載しています。」

学生の興味度・反応はいかがでしょう？

「授業は必修なので、効率的に多くの学生に検索システムを教えることが出来ます。一方データベース講習会などは、公募による集客ですので動員数は少ないのですが、受講する学生はとても熱心です。」

具体的な活用例がありましたら教えてください。

「先ほどお話ししたデータベース講習会では、日本の記事など（例えば今では拉致事件など）を英語新聞で検索させたり、身近な記事から検索をはじめています。」

利用が多いのはどの学部でしょうか？

「特にどの学部ということはないと思います。」

英語情報データベースの利点と損点がありますでしょうか？

「英語の勉強になりますが、その内容を深く理解しようとする場合、時間とその主題に関する基礎知識が必要となります。外国の新聞をほぼリアルタイムで利用できるようになり、冊子体で発生していたタイムラグが解消されました。データベースの整備は外国のほうが進んでいることから、検索システムなどが日本のものに比べて洗練されているように思います。」

Academicを選ばれたポイントは何でしょうか？

「世界各国の新聞が検索・閲覧できるからです。」

Academicユーザーに期待することは何でしょうか？

「もっと多くの利用者が便利なツールがあることに気づいて欲しいと思います。」

今回お話を伺ったのは >>>



上智大学



図書館情報サービス課
高橋 正江 様
杉本 昌彦 様

Academic Serviceについてご要望をお聞かせください。

「インターフェースを日本語にしていただけると、もっと利用が増えるのではないかと思います。それから、ソースから個別の新聞を選ぶとき、ちょっと時間がかかりすぎるようですが、直らないのでしょうか。」

—はい。現在前向きに取り掛かっております。

ご利用歴は？(導入されました時期は?)

「2001年に導入しました。」

在学生数は？

「約1万1千人です。」

Academicに接続できる学内のPCの数は？

「学生利用パソコンだけで約600台です。」

Academicの利用料金のご負担は？

「図書館予算から支出しております。」

授業へのご利用は？

「まだ、ありません。授業で出された課題の解決や、レポート作成のために使われているようです。」

お気に入りのコンテンツは？

「The Japan Timesかな?」

現在導入されております商用データベースは？

「索引・抄録・新聞・雑誌記事・書誌・電子ジャーナル等数多く導入しております。」

インタビュー実施日：2003年1月8日